

「会員の協力、

協同で元気になりました」

試合中に倒れた女性に救命措置 松山・南消防署が県グラウンド・ゴルフ協会と会員を表彰

2024年7月8日（月）（愛媛新聞）



文字

グラウンド・ゴルフの試合中に倒れて心肺停止状態となった60代女性に対して適切に救命措置し、人命救助に貢献したとして、松山市南消防署は8日、県グラウンド・ゴルフ協会（松下行吉会長）と会員の尾形明子さん（73）、藤田真志さん（78）＝以上西条市、永江隆さん（76）＝松前町＝を表彰した。

署によると、4月27日午前、県総合運動公園（松山市上野町）の補助競技場で、グラウンド・ゴルフの県代表選考大会に出場していた女性が倒れた。

近くにいた会員が119番通報。尾形さんが女性の容体を確認して心肺停止状態と判断し、胸骨圧迫を始めた。永江さんが交代して救急車到着まで継続し、藤田さんが自動体外式除細動器（AED）を使用するなど、協力して処置をした。

尾形さんは元看護師で、永江さんと藤田さんは防災士の資格を取得しているという。

8日は松山市北土居3丁目の南消防署で表彰式があり、山本修三署長が「適切な判断と勇気ある迅速な行動により大切な県民の命が助かった」とたたえた。尾形さんは「女性が倒れた時、とっさに動いた。助かってくれて本当によかった」と話した。（水原奈々）



人命救助で表彰を受けた県グラウンド・ゴルフ協会会員

【転載】： 2024年7月8日(月)（愛媛新聞）ニュースを転載させて頂きました。